

1. 科目名（単位数）	教育・学校心理学／教育心理学（4単位）	3. 科目番号	PSMP3116
2. 授業担当教員	成本 忠正		
4. 授業形態	講義および演習、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。		
7. 講義概要	教育心理学とは子どもを教育していく上で必要となる人間科学の知識を提示し、子どもの成長を促すためのより良い教育とは何かを心理学的視点から解説する学問である。教育心理学の基礎とされる発達、学習、人格、測定・評価の4つの領域について基礎知識を深め、今日の教育の現場が必要としている問題解決のための諸要因を解説する。本講義では、以上のような基礎的知識の習得に加え、事例に則り、それらの知識をいかに教育の実践に役立てていくのか検討する。併せて、現実の教育現場で起きている諸問題に対する支援の在り方についても考察する。		
8. 学習目標	1. 教育学と心理学の深い関係を理解し、説明できるようになる。 2. 教育場面において生じる問題及びその背景について指摘できるようになる。 3. 子どもの発達と学習能力を高めるさまざまな要因について理解できるようになる。 4. 教育の目的から考える学校生活のあり方：理論と実践の違いを理解し、説明できるようになる。 5. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について考察できるようになる。		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	1. 2～3の学習テーマごとに確認小テスト（30分程度）を実施する。 2. 学習内容に関する論述課題を2回実施する。 3. 授業で学習した教育心理学研究の知見について詳細にリサーチし、エビデンスを示しながらそれが教育現場でどのように貢献しているのかについてグループ発表を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 1. 工藤俊郎・高井直美・上田恵津子・菅原康二『基礎から学ぶ教育心理学』八千代出版、2020。 2. 適宜、関連テーマの資料を配布する。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 ・ 教育学と心理学の関係、子どもの発達と学習能力について十分に理解できたか。 ・ 学習の場における諸問題についてはグループディスカッションに積極的に参加できたか。 ・ 基礎的な知識を習得できたか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 平常点(授業態度・授業への参加・諸活動)として50% 2. まとめの課題(テスト・レポート・発表など活動)として50%		
12. 受講生へのメッセージ	1. 教育心理の考え方、視点を修得すると、人生のあらゆる場面においても応用可能と考えられます。それを修得するため、まず他の学習者との相互学習を通して、授業で出された様々な課題に積極的に取り組んでください。特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、一時的無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッションへの不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。 2. 初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず初日の授業に出席してください。 3. 受講生の理解度や要望によりシラバス内容を調整する場合があります。		
13. オフィスアワー	オフィスアワーについては初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	1. ガイダンス 2. 教育心理学とは何か ①	事前学習	教科書【教育心理学の成り立ち】を読み、教育心理学とは何かを考える。
		事後学習	教育心理学の意義について理解する。
第2回	教育心理学とは何か ②	事前学習	教科書【教育心理学の成り立ち】を読み、教育心理学とは何かを考える。
		事後学習	教育心理学の意義について復習する。
第3回	発達の基礎概念について理解する	事前学習	教科書【発達の基礎概念】を読み、人の発達特徴を理解する。
		事後学習	発達に影響を与える要因について復習する。
第4回	発達段階（理論とモデル）について理解する	事前学習	教科書【発達段階理論】を読み、各モデルの特徴を理解する。
		事後学習	認知・社会性・道徳の発達モデルの特徴および相違について復習する。
第5回	発達に関する研究成果を知る	事前学習	教科書【一般的発達区分】を読み、近年における研究成果を理解する。
		事後学習	知性・社会性に関する知見について復習する。
第6回	古典的条件づけ学習（基礎理論）	事前学習	教科書【学習の理論】を読み、古典的条件づけ学習のメカニズムを理解する。
		事後学習	この学習プロセス・メカニズムを復習する。
第7回	古典的条件づけ学習（教育現場での応用）	事前学習	教科書【学習の理論】を読み、教育現場における応用について理解する。
		事後学習	この学習理論の教育現場における応用について復習する。

第 8 回	オペラント条件づけ学習（基礎理論）	事前学習	教科書【学習の理論】を読み、古典的条件づけ学習のメカニズムを理解する。
		事後学習	この学習プロセス・メカニズムを復習する。
第 9 回	オペラント条件づけ学習（教育現場での応用）	事前学習	教科書【学習の理論】を読み、教育現場における応用について理解する。
		事後学習	この学習理論の教育現場における応用について復習する。
第 1 0 回	達成動機について理解する	事前学習	教科書【動機づけ】を読み、社会的動機づけを理解する。
		事後学習	社会的動機づけの種類と特性を復習する。
第 1 1 回	学習意欲について理解する	事前学習	配布資料【学習意欲】を読み、意欲に影響する要因を理解する。
		事後学習	教育場面における学習欲求について復習する。
第 1 2 回	論述課題の実施 ①	事前学習	課題への準備をしておくこと。
		事後学習	これまでの授業内容を振り返り、復習する。
第 1 3 回	知能（知能モデル）について理解する	事前学習	教科書【知能】を読み、複数の知能モデルが存在することを理解する。
		事後学習	知能とは何かを考える。
第 1 4 回	教科学習について理解する	事前学習	教科書学習の形態を読み、その種類を理解する。
		事後学習	指導・学習の効果的な方法について復習する。
第 1 5 回	教育評価について理解する	事前学習	教科書【評価】を読み、評価方法の種類とそれぞれの特徴を理解する。
		事後学習	各評価方法の種類および長所・短所について復習する。
第 1 6 回	社会との関係（向社会的行動）を理解する	事前学習	配布資料【向社会的行動】を読み、この行動を引き起こす要因を理解する。
		事後学習	向社会的行動の生起要因を復習する。
第 1 7 回	社会との関係（学級集団）を理解する	事前学習	配布資料【学級集団】を読み、社会性がどのように育まれるのかを理解する。
		事後学習	社会性を育てる学級集団の役割を復習する。
第 1 8 回	リサーチ発表準備	事前学習	各グループで発表内容について話し合う。
		事後学習	各グループで発表内容について話し合う。
第 1 9 回	学校適応（不適応行動）を理解する	事前学習	配布資料【不適応行動】を読み、その特徴を理解する。
		事後学習	主に心的・器質的要因について復習する。
第 2 0 回	リサーチ発表準備	事前学習	各グループで発表内容について話し合う。
		事後学習	各グループで発表内容について話し合う。
第 2 1 回	学校適応（不適応行動の要因）を理解する	事前学習	配布資料【不適応行動】を読み、その原因を理解する。
		事後学習	不適応行動の要因である神経症・精神病について復習する。
第 2 2 回	リサーチ発表準備	事前学習	各グループで発表内容について話し合う。
		事後学習	各グループで発表内容について話し合う。
第 2 3 回	論述課題の実施 ②	事前学習	教育心理学研究の意義とは何かを考える。
		事後学習	これまでの授業内容を自分なりにまとめ、教育心理学の重要性を理解する。
第 2 4 回	リサーチ発表準備	事前学習	各グループで発表内容について話し合う。
		事後学習	各グループで発表内容について話し合う。
第 2 5 回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第 2 6 回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第 2 7 回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第 2 8 回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第 2 9 回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。
第 3 0 回	リサーチ発表・質疑応答	事前学習	発表グループは発表準備。
		事後学習	発表グループは発表内容を振り返る。